

感染症予防に役立ててほしい 消毒用アルコールの寄贈

5月20日、酒造メーカー岩手銘醸(奥州市前沢)が自社で製造した消毒用アルコール「岩手誉アルコール77」40個を町に寄贈されました。及川豊彦取締役は「感染症の影響により消毒液が不足している状況で、自社でも製造できないかと考え発売に至りました。困っている地域の人たちに貢献していきたいです」と話し、青木町長は「町でも消毒液が不足している中で寄贈は大変ありがたい。消毒用アルコールは学校や必要とする施設で大切に使いたい」と感謝を述べました。



自衛官募集相談員に委嘱状を交付 同相談員に眞籠さん・高橋さん

5月21日、任期満了に伴い自衛官募集相談員の委嘱状交付式が平泉町役場で行われ、眞籠信巳さん(15区)と高橋誠さん(4区)の2人が再任されました。同相談員は、令和4年4月30日までの2年間の任期中、自衛官志願者の紹介や地元の若者に入隊を呼び掛ける活動などに引き続き取り組みます。この活動は防衛基盤の育成にも貢献する重要な役割を担っています。



知っとう♪ 行っとう♪ 道の駅平泉 得情報

■問い合わせ先…道の駅平泉 ☎48-4795

6月のイチオシ! 揚げパン と 氷カフェ

フードコートこばらより春・夏の新メニューを紹介します。揚げパン(1個200円)は、サクッとした食感でスパイシーなカレーとあんこの2種類を楽しめます。氷カフェ(1杯200円)は、イチゴとコーヒーの2種類でそれぞれ氷に味がついているため、飲む度に味が変わりこれからの暑い季節にお勧めです。



外はサクサクな揚げパンとすっきりとした甘さの氷カフェ

【6月のお薦め農産物】 タケノコ

植物の成長が著しい季節に入り18区の浅利徳子さんの竹林でも沢山のタケノコが地表から姿をのぞかせています。浅利さんは収穫したタケノコを水に煮た状態で道の駅平泉に出荷しています。「タケノコを出荷する際は、変色しないことと痛まないことに気を付けています。以前は米のとぎ汁を使って茹でていましたが、枯れた竹を火力に使うようになってから色も日持ちもよくなったので食べてみてください」と話していました。▷水煮タケノコ 400g²350円程度



6月中旬までタケノコが採れます

ふるさと応援寄附 返礼品提供事業者を募集します

平泉町では平泉町ふるさと応援寄附(ふるさと納税)をしていただいた人へ地元の商品を返礼品として提供しています。今後のさらなる平泉町のPRのため、返礼品提供事業者を募集します。

返礼品の要件

- ▷町内で生産、製造、加工、提供等をしているものであること
平泉町の特産品として認められる商品やサービス(ものづくり体験など)であること
 - ▷平泉町の魅力が伝わるものであり、本町地域産業の振興につながる要素をもつ商品やサービスであること
 - ▷商品情報の開示が可能であること
 - ▷換金性の高い商品やサービスでないこと
 - ▷総務省告示第179号(平成31年4月1日)に定める基準を満たすものであること
- 例 地元食材を使ったお菓子やものづくり体験など



ふるさと応援寄附返礼品の「大文字リンゴ」

返礼品の価格区分

「返礼品の価格」は寄附額の3割以下です。また、返礼品には「商品代」「発送資材代」「郵送料および消費税」などすべてが含まれています。

出品事業者の要件

- ▷町内に本社、支社、事業所等がある企業または個人事業者
- ▷各種法規制、条例に沿って生産・製造が行われているものなど

申込期限

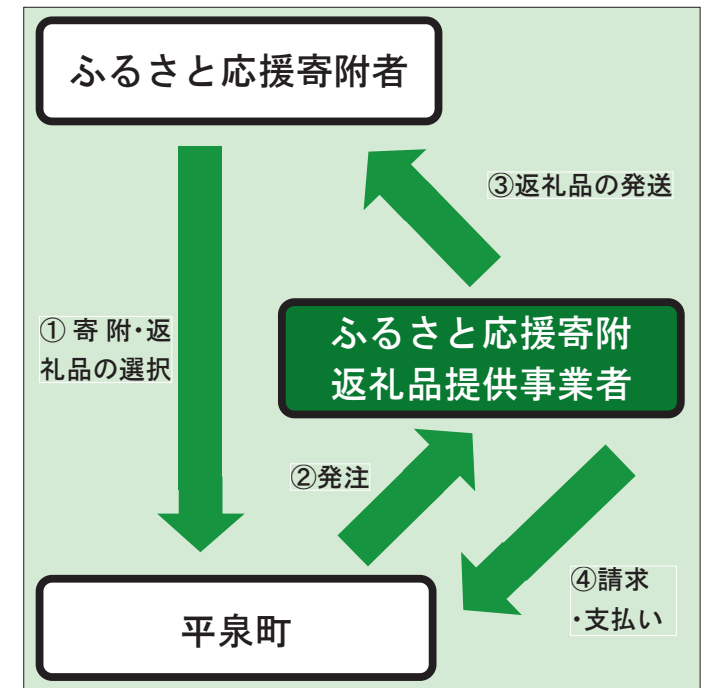
随時受付

問い合わせ先

総務課財政係 ☎46-5540



歴史と文化の醸成事業にて修復された無量光院跡
今年は10月末まで池に水を張った風景が楽しめます



ふるさと応援寄附返礼品の流れイメージ

ふるさと応援寄附(ふるさと納税)とは
町を離れて住んでいる人や文化・自然を守るため応援したい人からの想いを寄附金として託していただく制度です。寄附額のうち2千円を越える部分については、所得税と住民税から控除が受けられます。寄附金の使い道は次の中から選べます。

- ▽保健・福祉・教育の充実事業
- ▽歴史と文化の醸成事業
- ▽環境保全事業
- ▽産業振興事業
- ▽町長が認める事業